



シーオーピーディー
COPD
(慢性閉塞性肺疾患)



って知っていますか？

鈴鹿市のみなさん、こんにちは。

ばんクリニックの伴と申します。

みなさんは、「せき、たん」や「息切れ」で今までできていたことができなくなったと感じたことはありませんか？もしかして、COPD(慢性閉塞性肺疾患)が原因かもしれません。COPDはこれまで「肺気腫」や「慢性気管支炎」と呼ばれていました。COPDになると、気道や肺の組織で炎症が起き、肺の働きが低下します。肺機能が落ちることで、正常な呼吸が困難になります。COPDの主な症状は、「長引くせき・たん」や「息切れ」です。よくある症状なので、風邪や年のせいと勘違いし、そのままにされてしまうこともあります。症状が長引くようであれば、気管支や肺に関わる病気の可能性がありますので、早めにご相談頂ければ幸いです。COPDの主な原因はタバコの煙です。COPDの患者さんの9割で、喫煙歴があると報告されています。COPDは、肺だけではなく、全身に影響を与えると考えられていますので、併存症にも注意が必要です。不安・抑うつ、心・血管疾患、消化器疾患(胃食道逆流症など)、糖尿病、骨格筋機能障害、栄養障害、骨粗しょう症など様々です。また、COPDの方が新型コロナウイルス感染症にかかると重症化しやすい可能性もあり、普段からの適切な治療が必要になります。さて、次号では、COPDの診断方法、治療等についてお話させていただきます。